

# 無加温ハウスを活用したコマツナ栽培の経営的評価

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

## 1 部門名

野菜一ツケナ類－移植、作型・栽培型、所得

## 2 担当者

雨宮潤子・武藤健男・加藤義明

## 3 要旨

県内のパイプハウスの利用は夏秋期が主であり、主作物の作付け期間が長いことや、暖房費節約のため冬期間に利用されていない施設が多い。そこで、ハウスが空いている11月～4月中旬に無加温パイプハウスでの栽培に適したコマツナ（品種「よかつた菜G」）の導入について検討し、利用体系の評価を行った。

- (1) 直播→移植→直播の3作体系では、12月上旬、2月下旬、4月中旬収穫となり、直播→直播の2作体系では、12月上旬、3月中旬収穫となった（図1、写真1・2）。なお、移植栽培はチェーンポットと簡易移植機を使用。
- (2) 10a当たりの粗収益は直播→移植→直播の3作体系では1,518,899円、直播→直播の2作体系では959,364円、所得はそれぞれ804,821円、510,033円と試算された（表1）。（夏秋作の施設及び機械を共用すると仮定し、秋冬作の経営費に施設費及び機械費を含まない場合）
- (3) 本成果は、積雪が少ない地域において導入可能である。また、移植栽培の場合、前作の収穫終了後に速やかに定植できるよう、前作のコマツナの草丈が10cm程度に達したら次作の育苗を開始する。

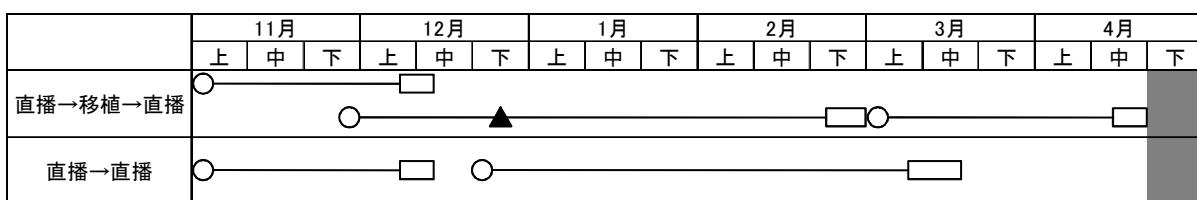


図1 栽培暦(○…播种、▲…定植、□…收获)

表1 10a当たりの収支試算

### 【コマツナ栽培の10a当たり経済性】

項目	直播+移植+直播	直播+直播
収入		
販売収量	①1025 ②2301 ③1850	①1019 ②2534
単価	①280 ②299 ③294	①280 ②266
粗収益	1,518,899	959,364
経営費		
種苗費	42,240	35,200
肥料費	22,022	22,022
農薬費	23,704	15,803
動力光熱費	3,024	2,016
諸材料費	120,099	37,780
小農具備品費	24,662	8,144
施設費	209,036	209,036
機械費	21,673	21,673
流通経費	478,328	328,366
費用合計	944,787	680,040
所得	574,112	279,324
所得率	38	29
労働時間	764	496
1時間当たり所得	751	563
(参考)		
所得	804,821	510,033
所得率	53	53
労働時間	764	496
1時間当たり所得	1,053	1,028

注1) 収入欄の①～③は1～3作目を示す。

注2) 単価は東京都中央卸売市場における各収穫月の過去5年間の平均

注3) 施設費及び機械費は福島県農業経営(生活)計画策定指標のトマト(雨よけ・4月播種)を参考に算出した(前提条件はトマト60a、水稻110a、水稻(作業委託)290a)

注4) 参考欄は施設費及び機械費を含まない場合の試算

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成18年度～22年度
- (2) 研究課題名 無加温ハウスを活用したコマツナ栽培の経営的評価
- (3) 参考となる成果の区分 指導参考

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度～22年度センター試験成績概要



写真1 移植直後の様子



写真2 収穫期の様子